

早稲田大学 人間科学部 英語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	大問3題は例年通り。設問形式も変わっていない。全体としては、量、レベルとも昨年並み。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔 〕	英文読解問題	8題の読解問題は例年通りだが、量が昨年よりやや減った。レベルは昨年並み。今年も自然科学系のテーマが多かったが、すべてが自然科学系ではなかった。社会科学系を入れるのが定着してきたかもしれない。	標準
〔 〕	空所補充問題	昨年よりやや易化したようだ。毎年少しずつやさしくなっている感じだ。ただ、入試レベルとしてはかなり大変で、31、33、37、39、40などは難しい。易化しているといっても、受験生にはまだまだ大変な問題だ。	やや難
〔 〕	正誤問題	昨年よりやや難化か。今年も名詞の部分に下線が多く引かれている。単数・複数や加算・不加算が結構ポイントになっていた。また、今年の特徴は、簡単な問題と難しい問題の両極端で、ある意味差別化した問題だったと言えよう。	やや難